

名古屋から日本へ、

そして世界へ

インターン生と四年間歩み続ける
老舗テント企業の壮大な挑戦。

Tent company takes on the world...

first stop, INDIA

"I want to sell our products outside Japan, so can you go to Vietnam to do research?" When Takeda, intern-turned-employee of Maruhachi Tent, heard these words come out of the President's mouth, he felt the start of something really big. However, no one knew at that time how they should proceed.

Two months later, one guy knocked the door of Maruhachi Tent. Makino, after living in Canada for one year as an exchange student, felt the same way as Takeda.

"This challenge will lead me to the next stage..." In 2015, they landed in India, not Vietnam, for the first time to start the project from scratch, even though everything in India was new to



◀ We participated in the exhibition in Frankfurt, Germany in 2015. Some interns went there with the President and explained the products in English to the visitors.

▼ We showed the effect of a parasol with heat insulation sheet in Mumbai, India in 2016.



them... In February 2016, Fujiyama and Mizuno, new interns, joined the Indian project and accelerated the speed of the project.

So how has the project been going so far? We have got a contract with a tent company in Mumbai, we have got two Indian interns, who are going to work for Maruhachi Tent from this coming July, and we have been conducting a Japanese course in a university. Who would have believed that a small tent company would do these things one year ago? No one.

"How can we manage Indian people well?" This is the question we always have in mind and tackle on every single day. This always gives the interns deep insight into how to work with foreigners and how we prove ourselves to them.

We plan to sell our products from October 2016. We still have a long way to go, but even today the Maruhachi interns are taking one step to another to reach our goal.



▲ 岐阜市内の図書館、「みんなの森 ぎふメディアコスモス」のグループ。有名なデザイナーの設計の下、インターン生が現場の指揮・監督を務めて完成させた。

朝八時十五分。おはようございます、と社長に挨拶に行く。「あの件どうなってる? :そうか、楽しかったな」と笑顔で言われる。何気ない社長との会話で新しい発想が生まれることは、よくある。何か新しいことが生まれそうに感じる。とふと目をひねりながらいつも通り掃除を始める。こうして丸八テントでのインターンの日は始まる。

おはようございます、の声とともにインターン生が次々と出社してきました。朝からインターン生の特徴が如火に現れる。やたらめったらクババタした音が聞こえたら藤山さん、落ち着いた雰囲気を感じたら伊藤さん、といったように。そんないつもの束縛のない日常にホッとしましたのも束の間、お客様からの電話が次々と来る。全国津々浦々から丸八テントの商品を求めて、「御社のホームページをみてみたくて」という第一声を頂くことはとても多い。ネットでの情報発信をしているのはインターン生だもねと少し誇らしげな気分になりながら、下腹に心を入れめてお客様とお話をする。買ってくれるかなあ...と思いつつ、これは早の数の数ほどある。インドの話、人材会社の話本の出版の話、外国人インターン生受入の話。ふと気がつくとならば、暗こうしてあつという間に一日は終わる。皆で食する晩御飯を楽しみに今日も退社する。

▶ 丸八テントが製作した屋内型プラネタリウム。我が社はどんな製品でも作る。テントの可能性は無限大だ。



商品開発も販売も。地元の繋がりも海外進出も。
 人事も営業も経理も。
 全てが経験できるものづくりの企業、ここに 있습니다。

株式会社丸八テント商会



オンリーワンをモットーにテント一筋65年。

丸八テント商会とは？

名古屋の中心の栄にある創業65年の老舗テント会社。「オンリーワンの製品」をモットーに、お客様の要望にオーダーメイドで応えている。テント生地のパックから、巨大なテント倉庫までありとあらゆる製品を手がけている。現在は名古屋本社と横浜営業所の2ヶ所が拠点。伝統工芸の西陣織と帆布・カーボンを組み合わせた製品や三軸織など、従来のテントの概念を壊す様々な取り組みに携わる。2012年よりインターン生受入を開始し、現在までに述べ23人の学生を受け入れてきた。

1. ありとあらゆる経験ができる

丸八テントで出来ないことはない、と言っても過言ではない。ものづくりに興味がある人は製品販売や商品開発、最近流行りのネットベンチャーにも惹かれる人にはネットでの販売戦略立案、海外に興味がある人はインド製品販売プロジェクト、地域や中小企業に興味がある人は横浜地域プロジェクトや中小企業コンサル実施など、活動の種類は枚挙にいとまがない。

2. 学生がチームを組んでプロジェクト運営

丸八テントではインターン終了後もアルバイトという形で会社に残ることができる。そのため会社にはいつも学生チームとして数名の学生が活動をしている。一人でやるのに比べ活動の規模も大きいし、何より心強い。困ったことがあったら先輩のインターン生がすぐに助けてくれる。

丸八テント商会のインターンの特徴



▶ 1. 横浜での営業活動

横浜営業所はまだ2年前に出来たものであり、これから関東で足場を作っていかなければならない。横浜での地元のコミュニティを作ること、すなわち横浜での「丸八のファン」を増やすことは急務であり、インターン生が地元の商店街や企業と草の根の活動を通して繋がりを作っていくことが今求められている。横浜での初代インターン生が築いた繋がりを足がかりにさらなるコミュニティの構築を目指している。



▶ 3. インドへの製品販売

1年前からインド市場での製品販売を目指すプロジェクトがスタート、クラウドファンディングの支援を受けながら現在水タンクや遮熱シートを使った製品を現地生産・販売する仕組みを作っている。インドにいる丸八のインド人社員と協力しながら市場調査や取引先との会議を英語で行っている。これまでに2回出張に行っており、今年の夏も出張に行く予定である。



▶ 2. ウェブ制作・SEO対策

◀ 2. ウェブ制作・SEO対策



丸八テントがインターン生と4年間かけて作ってきた仕組みの一つにウェブサイトを用いた情報発信が挙げられる。ブログ、facebook、Twitter、Google+などなど、多様なSNSを駆使して日英両方で日々情報を流している。そうなるとう大事になってくるのがSEO対策。それにウェブ制作。どちらも今インターン生が中心となって取り組んでいることだ。古い中小企業＝ネットに弱い、というのは大間違いだ。

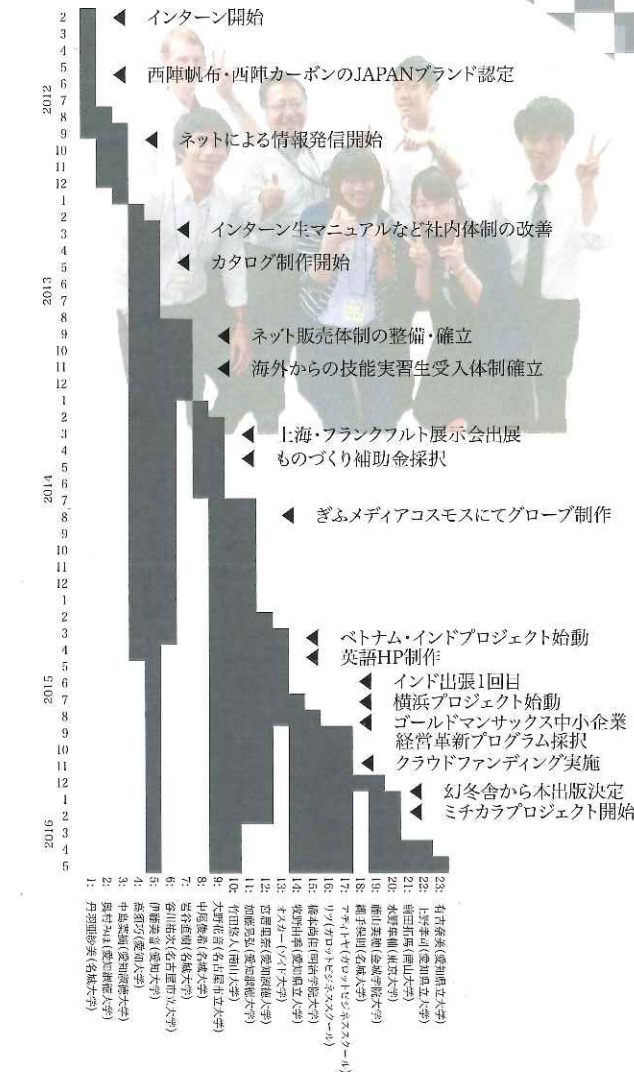


ミチカラプロジェクト

◀ 4. 人材事業

左記ミチカラプロジェクトとは人材事業の総称である。将来的にインド人材を日本企業という場で活躍させるべく、日本・インド双方で活動を行っている。日本では中小企業に対する学生のアイデアを生かしたコンサルティングや新規事業の提案、インドでは大学生に対する日本語授業の提供やさらなる提携先の開拓などを行っている。日本での外国人労働者の活用という今非常にホットな話題の最先端だ。

▼ 歴代インターン生の軌跡



本社 住所: 名古屋市中区栄5-7-10 〒460-0008
 電話番号: 052-251-6731
 IIP: <http://www.08tent.co.jp>
 E-mail: info@08tent.co.jp

横浜営業所 住所: 横浜市鶴見区下末吉5-8-6

活動内容・プロジェクト